

臨床工学技士の麻酔アシスタント業務に関する高度医療技術修得者養成について

奈良県立医科大学附属病院では、周術期におけるチーム医療を担う高度・専門スタッフの養成に取り組むものとし、その第一歩として、医療技術の進歩による医療機器の多様化・高度化に対応しうる臨床工学技士の専門性を周術期におけるチーム医療に活かすため、臨床工学技士の麻酔アシスタント業務に関する高度医療技術修得者の養成を行っています。

昨年6月からスタートした「麻酔アシスタント業務に関する臨床工学技士の高度医療技術修得のための研修プログラム2010～2011」は、日本麻酔科学会編「周術期チームテキスト」を基準とし、麻酔指導医の指導による実習（OJT）を中心にした1年を通じた研修です。

この度、1期生として2名の臨床工学技士が、この研修プログラムを修了しました。高度医療技術修得者養成認定審査委員会の認定審査を経て、9月1日、病院長から高度医療技術修得者認定証が交付されました。

